

★ 10th ★  
★ ANNIVERSARY ★



スーパーサイエンスミュージアム10周年記念誌

スーパーサイエンスミュージアム 10周年記念誌

## スーパーサイエンスミュージアム実行委員会

事務局：広島市こども文化科学館内（広島市中区基町5-83）

URL <http://www.ssm-h.jp> TEL.082-222-5346 FAX.082-502-2118



## 豊かな好奇心を育み 科学の面白さを未来へ

スーパーサイエンスミュージアム実行委員会  
実行委員長

田村 興造（広島ガス株式会社 代表取締役社長執行役員）



子どもの頃、顕微鏡に浮かび上がった花粉の不思議な姿や、科学雑誌に出てきた蛸のような奇想天外な宇宙人の話が、私を科学の世界に導いてくれました。そこには好奇心を満たしてくれる感動と未知の世界が広がっています。こうした世界に子どもたちを誘いたいと、平成15年に「スーパーサイエンスミュージアム(SSM)」事業を立ち上げました。事業にあたっては、大学・高校・中学・小学校の先生方、広島市こども文化科学館、そして広島ガスの「学・官・産」が連携し、10年以上にわたって活動を推進してまいりました。

SSMは、子どもたちが本来もっている好奇心を引き出し、机上の学習だけでなく、実験や体験を通じて“科学＝サイエンス”を楽しく学ぼうとするプログラムです。これまで、関係者の皆様のご尽力により、事業を継続することができました。ここに、衷心より御礼申し上げます。

このたび、10周年記念誌を編纂することで、これまでの成果を記録し、活動を広く教育関係者および次世代を担う子どもたちへ伝えるとともに、今後の10年に向けてさらに充実した教育活動を推進する礎にしたいと考えております。

昨今、子どもたちの理科離れが叫ばれる中、「彼らが本来持っている豊かな好奇心や探究心を、大いに發揮して、楽しんでもらいたい」との熱い思いで活動を実施しております。子どもたちにとって、直接、見聞きして体験することが、人間の五感を育む大きな要素となります。「アイデア、発見、発明」などは、第六感の世界に属しており、この第六感は、五感が鍛えられていないと、簡単には頭に湧いてこないと言われています。

体験を通じて「自分で見て、自分で考える」姿勢を体得することによって、この「五感」に加え、ものごとを客観的、論理的に捉える力を養っていくことができます。そしてそのことが、新しい世界を切り開く「想像＝創造」性へつながっていきます。子どもたちが、SSMの体験を通じて、創造力豊かで、夢や希望をもった人間として成長し、将来、豊かで平和な社会づくりを担っていく人材となっていただくことを、心から期待しております。

10年前にSSM1期生だった参加者の皆さんには、今、大学生になっています。卒業生の中から、今度はこのSSMの講師として次の人才培养に携わっていただけるような、将来の日本を支える多くの“人財”が多数輩出されることを願っております。

最後に、SSM10周年記念誌を刊行するにあたり、本誌の編纂にご尽力くださいました関係者の皆様に感謝を申し上げご挨拶といたします。